

事務事業	11006	届出保育施設健康診断補助事業	担当課	子育て支援課	担当係	保育係
計画 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予算 科目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	130 子育てしやすい保育環境を整える		款	3	民生費
				項	4	児童福祉施設費
				目	1	児童福祉施設総務費
法令根拠条例等	志免町認可外保育施設衛生安全対策補助金交付要綱 志免町届出保育施設健康診断事業費補助金交付要綱		個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H18 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
届出保育施設に勤務する保育従事者等が受診する健康診断にかかる費用の一部を補助する。職員の健康診断の実施は、労働安全衛生法に基づく労働安全衛生規則により義務づけられている。届出保育施設の職員健康診断は採用時及び1年に1回実施し、調理に携わる職員は概ね月1回の検便を実施することになっており、その費用の一部を志免町で補助している。(国県補助あり)平成24年度より、届出保育施設が実施する児童に対する健康診断に対し補助金を交付。			届出保育施設健康診断補助金 169 千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)			千円
届出保育施設に勤務する保育従事者が受診した健康診断費用の確認。補助費の精算。届出保育施設が実施している児童の健康診断の回数確認。在籍児童の確認。補助費の精算。			千円 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務事業の目的	① 手段(主な活動)	30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 町内3施設の職員と、月極めで利用している児童が受診。
	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	届出保育施設及びそこで勤務する保育従事者等、月極めで保育園を利用している児童
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)	当該施設での安全で安心な保育運営ができる。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 補助施設数	施設	3	3	3 (見込)	
イ 受診職員数	人	21	16	20 (見込)	
ウ 受診児童数(3施設)	人	156	126	130 (見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 町内届出保育施設数	施設	3	3	3 (見込)	
イ 健康診断補助申請職員数(3施設)	人	21	16	20 (見込)	
ウ 健康診断補助申請児童数(2施設)	人	156	126	130 (見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 児童の受診率	%	目標	100.0	100.0	100.0
		実績	100.0	100.0	
イ 職員の受診率	%	目標	100.0	100.0	100.0
		実績	100.0	100.0	
ウ 補助施設数	施設	目標	3	3	3
		実績	3	3	
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等	67	64	64	64		
		受益者負担等						
		一般財源	116	258	105	258		
		合計(A)	183	322	169	322	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	221	399	364	654		
	トータルコスト(A)+(B)	404	721	533	976	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
届出保育施設への運営費補助を行っている市町(福岡市・篠栗町等)が近隣にあり、同様の補助を求める声が上がっていた。しかし、届出保育施設への国県補助は、待機児童解消促進等事業に基づく職員の健康診断費用の補助しかなく、運営費の町単独補助を行うことは困難であった。そのため、まずは国県補助対象である職員健康診断に対して補助金要綱を制定した。	平成24年度より、町の単独で志免町届出保育施設健康診断事業費補助金として、月極めで在籍する児童に対しての健康診断代の補助の実施を開始。	安心して健康診断を受診でき、健康管理ができるといわれる。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	児童健診において保護者から実費徴収をしている園もあるため、この事業を活用し保護者の負担を減らすことができないかを園と協議していくことで、子どもを安心して生み育てることができるまちづくりに役立てることができると思われる。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	届出保育施設への補助を行うことにより、その施設の保育環境の整備につながり、安心して子どもを預けることへとつながる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	届出保育施設に勤務する職員の健康管理は、その施設を利用する志免町の子どもの安全保育につながる。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	施設に対して再度事業の説明を実施し、健康診断(内科・歯科)の重要性、補助金の申請方法等を徹底し、子ども達が健康で安全に暮らせる場所作りをする。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	保護者と施設の負担が増えるため、受診率が下がる可能性があり、安心して子供を預けることができなくなるため。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	補助基準額は、実際に届出保育施設が要している事業費と比較して妥当であり、事業の目的を考えると、削減は望ましくない。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

保育従事者の健康診断等の補助金については町内全てにあたる3施設からの申請があり、支給を行った。 園児の健康診断事業費補助金については、1施設から事務をする時間がなく、交付額見込みも少ないため、申請をしないとの申し出があった。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	児童健診において保護者から実費徴収をしている園もあるため、この事業を活用し保護者の負担を減らすことができないかを園と協議していくことで、子どもを安心して生み育てることができるまちづくりに役立てることができると思われる。